

令和4年2月21日

「文化資源の高付加価値化の促進」関連事業の成果報告会の開催について

- 文化庁では、旅行者の長期滞在・消費拡大を図る文化観光コンテンツのモデルを創出し、「文化振興・観光振興・地域活性化」の好循環につなげることを目的として、文化施設や文化資源の高付加価値化を図る事業を実施しました。
- 本報告会では、この事業に取り組んだそれぞれの地域や事業の課題に対する解決手法や今後の推進方策などについて、各事業者や外部有識者・専門家である担当コーチをお迎えしご報告します。
- 文化観光の推進にご関心がある事業者や地方公共団体等の方々はぜひご視聴ください。

【名称】 上質な観光サービスを求める旅行者の訪日等の促進に向けた文化資源の高付加価値化促進事業・ウィズコロナに対応した文化資源の高付加価値化促進事業成果報告会

【日時】 令和4年3月4日(金) 18:00~20:50

【形式】 オンラインライブ配信（一部事前収録あり）

【申込 URL】 <https://bunkakanko.peatix.com> 視聴無料

上記 URL にアクセスし、お申込みください。当日申込による視聴も可能です

【プログラム(予定)】

- | | |
|-------------|-----------------------|
| 18:00~18:05 | 開会挨拶 |
| 18:05~18:20 | 文化観光 概要説明 |
| 18:20~18:35 | 今年度事業 概要説明 |
| 18:35~19:35 | 今年度事業 事例紹介 |
| 19:35~20:05 | 本事業を通じた報告 |
| 20:05~20:50 | 今年度事業の総括・一般視聴者からの質疑応答 |
| 20:50 | 終了予定 |

※詳細は、<https://bunkakanko.peatix.com> をご参照ください。(随時更新予定)

※報道機関の本報告会取材は、コロナ禍を踏まえ、「配信会場での傍聴」と「オンラインでの視聴（報道関係者専用 URL あり）」の同時開催です。詳しくは、上記の URL をご参照いただくとともに、3月3日(木)17:00 までに、「取材・傍聴申込書」をご送付ください。

<施策に関する問い合わせ先>

文化庁参事官（文化観光担当）付

担当：大井 翔太（内線 5047）

電話：03-5253-4111（代表）、03-6734-4869（直通）

<報道に関する問い合わせ先>

（株）サニーサイドアップ

担当：矢野 杏奈（080-7934-3745）

吉野 明美（070-3186-6127）

FAX：03-5413-3050 E-MAIL：aca_pr@ssu.co.jp

<事業全体に関する問い合わせ先>

本事業事務局

E-MAIL：info@bunka-jyoushitsu.jp

TEL：03-6264-7005

受付時間：10:00～18:00（土日祝日・年末年始を除く）

事業概要

- 富裕層などの上質な観光サービスに相応の対価を支払う旅行者の滞在・消費の促進が課題となっていることを踏まえ、こうした旅行者の長期滞在・消費拡大に向け、文化施設や文化資源の高付加価値化が重要となっている。
- 上質な文化観光コンテンツの造成等を支援し、文化施設や文化資源の高付加価値化を促進するとともに、本事業で得られる成果を横展開することで、民間事業者等による更なる取組の促進を図る。
- 実証事業においては、事業の自走化を見据えて、事業実施者に対し、専門家が事業運営体制・事業内容・プロモーション手法等をコーチング。

事業例（報告会において紹介する事業）

○静岡の伝統花火を守り抜く 静岡花火の競演会 in 熱海（静岡県熱海市）、<伝統産業(花火)>

<https://www.ataminews.gr.jp/hanabifestival/>

- ・事業者名： 株式会社イケブン
- ・登壇者： 副工場長 高橋 美帆子 氏
- ・事業概要： 静岡県内の煙火業者と熱海市の観光関連団体が連携して花火作品を披露する有料イベントを実施した。花火打ち上げ数量日本一を誇る静岡県において、コロナ禍でのイベント自粛で煙火業者が事業継続の危機に直面するなか、地元のお祭りと音楽などと組み合わせたオリジナル花火を創造して新たな文化資源を造成。座席を高単価で販売することで、マネタイズ・継続を図る。



○三大寺を軸に高岡の魅力を伝える～モダン・ラグジュアリー層向けコンテンツ開発と環境整備（富山県高岡市）、<寺社、伝統工芸>

<https://mizutotakumi.jp/>

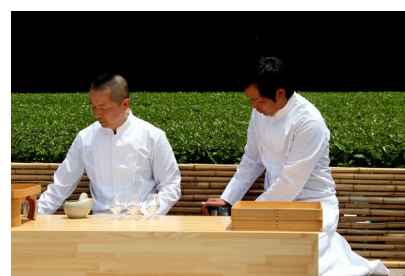
- ・事業者名： 一般社団法人富山県西部観光社 水と匠
- ・登壇者： プロデューサー 林口 砂里 氏
- ・事業概要： 古い町並みやモノづくりの背景にある「仏教思想に基づく精神風土」と「加賀藩・前田家統治による文化・産業奨励」を一つの物語として再編集し、匠の技のワークショップや未開発の国泰寺や瑞龍寺、勝興寺での座禅や精進料理体験などのコンテンツを造成。



○ティーツーリズムの推進事業～茶空間へ茶泊の定着を目指して～（佐賀県嬉野市）、<食文化(お茶)>

<https://tea-tourism.com/>

- ・事業者名： 嬉野茶時
- ・登壇者： 代表 小原 嘉元 氏
- ・事業概要： 1300年前から湧出する嬉野温泉、500年前に栽培が始まった嬉野茶、400年の歴史を持つ肥前吉田焼の連携で「嬉野ティーツーリズム」が進化。今までよりも高付加価値・高価格帯の商品として茶畑に設置した茶室で、料理とお茶や日本酒をペアリングする茶空間体験を開発。新たな実施時期を開拓し、担い手育成のための教育プログラム開発も行った。



○「織物産地のブランディングによる地域観光促進事業」(山梨県富士吉田市)、<伝統産業(織物)・アート>

<https://fujitextileweek.com/>

- ・事業者名： 株式会社DOSO
- ・登壇者： 代表 八木 毅 氏
- ・事業概要： 富士吉田市一帯を活用し、アーティスト＋機織り産業「FUJI TEXTILE WEEK」を開催。企業向けには機織り工場の見学や事業者の新規開拓となる展示会、消費者向けには地域課題の空き家を利用した芸術祭を実施。伝統の織物産業の流通・売り上げ開拓につなげるとともに、アート作品化することにより伝統産業の富士吉田テキスタイルの認知向上を図った。

